

関西大学幼稚園

2017 年度学校評価報告書



2018 年 3 月

目 次

2017 年度 関西大学幼稚園 学校評価（自己点検・評価）分析

1 本園の概要	1
2 今年度の教育活動状況	1
3 評価の実施にあたって	2
4 評価の分析	
(1) 保護者への働きかけ	4
(2) 小学校（初等部）との関連	9
(3) 子育て支援	11
(4) 施設・設備	15
5 学校関係者評価委員会からの評価結果	16
6 「学校評価（自己点検・評価）報告書」に対する園長の意見書	18
7 アンケート結果	19

2017年度 関西大学幼稚園 学校評価報告書

関西大学幼稚園
自己点検・評価委員会

1 本園の概要

関西大学幼稚園は、教育基本法を十分に尊重し、すべての園児が各自の人間性や能力を全面的に開花させていくことを目的として1951年に開設され、創立67年目を迎えている。

本園は、「自主性の陶冶」「協同性の涵養」「生きる力の育成」の3本の柱を教育の基本方針とし、様々な環境や境遇に育った子どもたちが、幼稚園の新しい環境と集団生活に適応できるように教育活動を実践している。「いきいきと自己表現ができ、積極的にいろいろなことに取り組むことのできる子どもにすること」、「みんなで協同して仕事をしたり、遊んだりすることのできる子どもにすること」、「困難に出会った時、前向きに解決していける豊かな感性と生活の知恵をもつ子どもにすること」を子どもの育ちのなかで見逃すことなく働きかけながら、子どもが子どもらしい感性を発揮し、心豊かに人間らしく育つことを、時代を越えて守っていかなければならない、と考えている。

また、本園は自然環境に恵まれ、園舎前面に運動場があり、園庭には楠、桜、いちょう、せんだん、くぬぎ、かえで、つつじ、つばき、きんもくせいのほか、裏山には松、かし等の樹木に囲まれている。また、ざくろ、みかん、柿、ジューンベリー、ブルーベリー等の実のなる木や草花の存在は、子どもたちに四季折々の自然を身近に感じさせる楽しみとなっており、情操教育の一助となっている。

このような環境の中で、教育学や心理学及びその他の諸科学の進歩に即しながら、子どもたちの感覚を豊かにすることに重点を置きつつ、認識、情操、能力、健全な心と体の発達をはかるための保育を開設以来積み重ねている。

一方、本園を運営する学校法人関西大学は、「Kandai Vision 150」に基づき、その実現のために、中期行動計画を策定し実施している。本園においても、この枠組みの中で基本方針と中期行動計画の連関を意識しながら教育活動を実践している。

2 今年度の教育活動状況

本年度の中期行動計画で掲げた「考動力ある人材育成に資するための“つながり（連携）”の強化」に関しては、関西大学大学院心理学研究科の「児童臨床心理学実習」の一環として本園で短期実習を実施することが定着している。また、関西大学国際部と連携し、普段の保育時間中に外国人留学生を招き園児との交流を深める取組も定着しており、今年度は5月から1月の間に計26回の機会を持ち、延べ79名の外国人留学生が参加している。加え

て、今年度から英語を母国語とした留学生との交流を13回設定し、交流内容は充実したものとなった。また、関西大学第一中学校との「総合学習」における、生徒と園児の交流を実施することができ、双方にとって有意義な交流となった。

「子育て支援施策の拡充」においては、「希望（のぞみ）クラス」と並行して実施している預かり保育「なないろ」を、午前保育後（水曜日）、長期休暇中（夏休み14日間）の「なないろ」実施に加え、今年度は長期休暇中（冬休み3日間）においても「なないろ」を実施したところ、予想を上回る参加人数となった。また、2歳未満児親子対象の「おいでおいで」については、今年度3回開催した。うち1回はホールにおいて遊具を利用した内容を計画し、好評で多数参加者があった。

3 評価の実施にあたって

本園の自己点検・評価（学校評価）は、複数の項目に分類し、3年かけて一巡する取組にすることを、学校法人関西大学自己点検・評価委員会（併設校部門委員会）において承認されている。これを受けて、本園では下表のように評価活動の年次計画をまとめた。

2015年度	2016年度	2017年度
教育方針	食育	保護者への働きかけ
教育内容	年間行事	小学校（初等部）との関連
安全教育		子育て支援
園児募集		施設・設備

また2017年度の本園における主な自己点検・評価活動は以下のとおりである。

日付	議題	内容
6月2日(金)	今年度の評価について	
6月13日(火)	初等部保護者アンケートについて	・アンケート項目の検討
6月16日(金)	初等部保護者アンケートについて	・アンケートの作成
6月19日(月)	年少組クラス懇談会にてアンケート実施	・初等部アンケート
6月20日(火)		
6月22日(木)		
7月3日(月)	年中組クラス懇談会にてアンケート	・初等部アンケート

7月4日(火)	実施	
7月11日(火)	年長組クラス懇談会にてアンケート	・初等部アンケート
7月13日(木)	実施	
7月21日(金)	今年度の学校評価について	・アンケート集計
7月24日(月)	今年度の学校評価について	・担当を決める
8月25日(金)	2学期に実施するアンケートについて	・アンケートの作成
10月5日(木)	年長組クラス懇談会にてアンケート実施	・今年度の学校評価アンケート
10月6日(金)	年中組クラス懇談会にてアンケート実施	・今年度の学校評価アンケート
11月9日(木)	年中組クラス懇談会にてアンケート	・今年度の学校評価アンケート
11月10日(金)	実施	
11月16日(木)	年少組クラス懇談会にてアンケート実施	・今年度の学校評価アンケート
11月29日(水)	年長組クラス懇談会にてアンケート実施	・今年度の学校評価アンケート
12月14日(木)	今年度の学校評価アンケート配布	・締切12月20日(水)
12月21日(木)	今年度の学校評価保護者用アンケートの集計	・今年度学校評価アンケート
1月24日(水)	教員用アンケートについて	教員用アンケート内容の検討・作成
1月26日(金)	教員用アンケートの実施	
1月29日(月)	教員用アンケートの集計・分析	
2月5日(月)	年少組クラス懇談会にてアンケート	・今年度の学校評価アンケート
2月6日(火)	実施	
2月9日(金)		
2月21日(水)	年中組クラス懇談会にてアンケート実施年間行事アンケートの実施	・今年度の学校評価アンケート
2月28日(水)	年長組クラス懇談会にてアンケート実施	・今年度の学校評価アンケート
3月6日(火)	学校関係者評価委員会開催	

本園の学校評価活動の特徴として、2010年度から保護者にも協力を仰ぎ、保護者と教員との間で本園の教育についての意識が共有できているかを検証している。本年度も保護者へのアンケート調査をクラス懇談会直後に実施することで、保護者の意見を記述してもら

いやすいようにし、回収率の平均は96.4%であった。

4 評価の分析

(1) 保護者への働きかけ

本園では、教育方針や教育内容を伝えることと併せて、保護者と教員が子どもの成長を願う者として共通理解を深めることを目的に、直接的あるいは間接的に保護者への働きかけの機会を設定している。

ア 直接的な働きかけについて

【現状の説明】

保護者と直接顔を合わせて話す個人懇談や懇談会等は、本園の教育方針や教員の考えを直接伝えることができる機会であり、保護者と共に子どもの成長を考える場である。また、連絡帳においても紙面を通して、保護者と子どもの成長を考える機会としている。

(ア) 太陽と大地の会

園長と保護者が子どもの成長や子育て観等を話し合う場であり、参加者が自分自身を振り返り自分と向き合う場となっている。参加される保護者になるべく自然体で話ができるよう、月2回（3月、4月は除く）設定し少人数での会にしている。また、卒園児の保護者や父親の参加も可能である。

(イ) 園長懇談

一年を通して保護者からの要望に応じて園での相談、あるいは電話相談を行っている。子どものこと、育児のこと、また保護者自身の悩み等を聞き、少しでも保護者の気持ちを軽くし、子育てを楽しめるよう働きかけている。

(ウ) クラス懇談会

月1回（8月、12月、1月は除く）クラスごとに行い、ほぼ全員の保護者が参加している。担任は保護者に本園の教育方針や教育内容がより伝わるように、クラスの様子、保育のねらいや取組について具体的な子どもの姿を交えて話している。また、2015年度より年少組のクラス懇談会で、保育の中で行っているぬらし絵を保護者に体験してもらう機会を設けている。

(エ) グループ懇談会

年中児保護者に1グループ（6名）ずつ自由遊びでの様子やクラスの子ども同士の関わりを参観してもらい、後日2グループ（12名）が集まり懇談会を開いている。少人数にすることで話しやすい雰囲気を作り、参観で感じたことや家庭での過ごし方等、より多くの保護者が発言できるようにしている。教員にとっては、保護者の子どもへの思いや考えを知ることができる機会であり、教員と保護者が相互に子どもへの理解を深めていけるように努めている。

(オ) 個人懇談

保護者から家庭での子どもの様子や子育ての悩みを聞き、教員は園での子どもの様子を交えながら個人に合った具体的なアドバイスをするように努めている。入園、進級に伴う保護者の不安を少しでも和らげるため、1学期は各学年共4月に1度目の個人懇談を設けていた。しかし、入園、進級した子どもたちの様子を教員が十分とらえ、園での姿を交えて話ができるように、2017年度から個人懇談の開始を年中・年長組は4月末、年少組は5月とした。年少組は11月頃から自由遊びを参観した後2度目の個人懇談を行い、参観時の子どもの様子から具体的な話をしている。年長組は11月半ばから2度目の個人懇談を行い、小学校入学を見据えた話をしている。また、個人懇談の期間でなくとも保護者から要望がある時には時間を設け、対応している。

(カ) 連絡帳

連絡事項にとどまらず、家庭での子どもの姿や子育ての事、子どもを通して感じた園生活のこと等、保護者の思いや考えを担当に伝えるノートである。連絡帳でのやり取りを通して担任と保護者が互いの思いや考えを知り、子どもへの理解を深め、子ども観をより良いものに出来るよう努めている。

【点検・評価と今後の取組】

本園で行っている保護者への様々な働きかけの中で、特に個人懇談や懇談会においては保護者と直接顔を合わせて話をするため、子どもに対する相互理解を深める大切な機会であると捉えている。保護者アンケート調査において「クラス懇談会でお伝えする園生活の様子や教育内容を通して、本園の教育方針が伝わっていますか。」との設問に対し、「伝わっている。」の回答は、2014年度は全体で78%で、2017年度は85.6%であり、2014年に行われたアンケートに比べ7.6%高くなっている。この結果に甘んじず「伝わっている。」の回答が更に増えるように、クラスでの子どもの状況を、子どもの育ちにおいて大切なことをよりわかりやすく伝える工夫に努めていく。

また、保護者アンケート調査において「個人懇談はお子さんの成長や発達を考える上で有意義なものになっていますか。」との設問に対し、「なっている。」の回答が2014年度が全体で76.9%であり、2017年度は88.2%であった。2017年度より個人懇談の開始時期を入園・進級当初から年中・年長組は4月末、年少組は5月にずらし子どもをより深く知ること、より具体的に子どもの姿を伝えながら懇談することができ、園での子どもの様子を知りたいと願う保護者の気持ちを満たすことが出来たと思われる。今後も保護者への適切な働きかけが出来るように、教員は学年会議などで子どもの見方や捉え方を確かめ合うとともに、家庭との更なる連携と、保護者との有意義な時間をより一層持てるよう努めていきたい。

イ 間接的な働きかけについて

【現状の説明】

数々の発信物においては、教育方針や教育内容が伝わるように、具体的な子どもの姿を通して教員が感じたことや考えを文章で伝えている。保護者が読み進めたいくなる文面や、発行を楽しみにしてもらえそうな便りになるように努めている。

(ア) 園だより

園長が年間約30号発行している。行事に対する考えや取組、あるいは各学年の発達の違いを踏まえた子どもの姿等を伝えることによって、幼児期の子どもの育ちの大切さに目を向けてもらえるよう働きかけている。

(イ) 学年だより

各学年ごとに担任が、年少だより年間約17号、年中だより約20号、年長だより約25号発行している。連絡事項にとどまらず、教育内容や取組へのねらい、具体的な子どもの様子を書くことで、教育方針を理解してもらえるよう努めている。

(ウ) 通園だより

年間6～7号発行している。集団通園における教育的意義や通園時において指導している交通ルールや、公共のマナーを伝えている。また、通園における子どもの様子や変化等を具体的に知らせることで、幼稚園と家庭との共通認識が必要であることを意識してもらえるよう働きかけている。

(エ) 食育だより

年間6～7号発行している。食に関する園での取組や、日本の伝統文化（お月見、冬至、正月）の食に関すること、旬の食べ物、おやつとの与え方等を題材にし、子どもの食生活についての理解を深められるよう働きかけている。

(オ) 機関誌「はぐくみ」

はぐくみの会（保護者会）と園が協賛で年4回（4月、7月、12月、3月）発行している。園からは、教育方針や教育内容に関すること、園長と各学年の担任の思いや考えを掲載している。はぐくみの会からは役員会・クラブ活動の報告、保護者から寄せられる原稿等を掲載している。1957（昭和32）年発行以来、家庭と園相互の子育て観や保育観、保護者会の活動等を記録した本園の歴史である。

【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると、「各便り（園だより、学年だより、食育だより、通園だより）の目的や意図を理解していただいているか」との設問に対し、2017年度は、約95%の保護者が「理解できている」（A評価）との結果であった。「まあまあ理解できている」のB評価を加えるとほぼ100%となる。2014年度のアンケートで、「理解できている」（A評価）の回答が85%前後だったことを照らし合わせると、より伝わる便りになっていることがわかる。

この結果に甘んじることなく、今後も本園の活動を丁寧に関わりやすく発信し、発行を

楽しみにしてもらえ、便りになるように、また、具体的な子どもの見方や関わり方の一助にってもらえ、便りになるように努めていく。

ウ 講演会、講習会について

【現状の説明】

講演会は主に園が主催しており、保護者が自分自身のことを見つめ直すことによって子育てのヒントを得、悩みや心配事が解消されるきっかけになることを願って企画している。講演内容については、現在の子どもたちや保護者の姿から教員が感じること、また社会情勢にも視点を置き、今子育てに大切だと感じること等を教員で話し合い、職員会議において決めている。

講習会においては、はぐくみの会が主催しており、保護者同士が楽しく取り組めるひとつの機会として企画している。

講演会開催状況

○6/26（月） 9：30～11：00

テーマ：「質問アラカルト」

会場の場所：幼稚園ホール

講師：関西大学幼稚園元園長 稲田 千代

講習会開催状況

○11/22(水) 10：00～11：00

内容：ライアー演奏会

演奏者：ライアーアンサンブル「Sylfe（シルフェ）」

○1/31(水) 9：30～11：00

内容：羊毛講習会「小鳥のモビール作り」

講師：岩元 ちかこ

エ 保育参観について

【現状の説明】

参観は子どもたちがいつもと変わらず過ごせるように配慮し、学年によって参観者の人数や時期を考え設定している。保護者には参観前にクラス懇談会や学年だよりを通して、参観で見てほしいポイントや、子どもたちがいつも通り過ごせるよう協力してほしいことを伝えている。気になることや心配なことがあれば参観後に保護者から教員に申し出てもらい、連絡帳や個人懇談を通して一緒に考える機会を設けている。

(ア) 自由遊びを参観（年少・年中組）

年少組は、園生活に慣れリラックスして過ごせるようになる11月から翌年1月に、2名ずつ参観を設けている。年中組は、友だちとの関わりが深まり、遊具を工夫して遊びを展

開していくようになる11月から翌年1月に、5、6名ずつ参観を設けている。

(イ) リズム参観

リズム運動の参観は、年中組と年長組で設けている。年中児保護者にはリズム運動がどのようなものかを参観を通して知ってもらい、日常生活の中で身体を動かす大切さを感じてもらうため、6月に参観を設けている。年長児保護者は個々の身体の動きや友だちと気持ちを合わせて取り組む動き、友だちを応援する姿等子どもの成長を感じてもらえるよう卒園前の3月に参観を設けている。今年度は7月に、年中・年長児の保護者を対象にリズム運動を体験する機会を設けた。

(ウ) 誕生日のお祝いと参観

月単位でお祝いをするのではなく、一人ひとりの生まれた日を大切に考え誕生日（休園の場合はできるだけ近い日）にお祝いしている。誕生日を迎えた園児に対して保護者1名に来園していただき、朝の集まりからお祝い後の自由遊びまで参観を設けている。お祝いの席では保護者に誕生日を迎えた我が子の隣に座ってもらい、子どもの成長やクラスみんなでお祝いする雰囲気を感じてもらう機会としている。

(エ) 運動会参観

戸外遊びに適した10月を運動月間とし、毎日「運動会ごっこ」と称して体育遊びや集団遊びを積み重ねて、その中で10月中旬の平日に年少・年中児保護者は1日、年長児保護者は2日間の参観日を設けている。

(オ) 休日参観

平日の登園日に来園できない保護者のために休日に参観日を設けている。年中・年長児は朝の集まりから降園までの時間を親子で一緒に過ごしてもらうことで、生活面や友だちとの関わりを通して子どもの成長を感じてもらう機会としている。年少児にとっては長時間多くの大人がいる中で過ごさせることは精神的負担になると考え、保護者には来園後約1時間、スライドを見ながら園生活について園長の話聞いてもらい、その後親子で一緒に過ごす時間を設けている。

(カ) クラス全員で取り組むごっこ遊びの参観（年長組）

年長組の取組として「おみせやさんごっこ」を行っている。年長児は普段の遊びや年少・年中児の時に招待された経験を活かし、アイデアを出し合っ様々なお店（輪投げ屋、たこ焼き屋、綿菓子屋、ネックレス屋等）を作り、店主として年少・年中児を招きごっこ遊びを楽しんでいる。年長児の保護者はおみせやさんごっこに参加し、子どもとのやり取りを通してごっこ遊びの世界を感じてもらうと共に、子どもの成長の姿を知る機会となっている。

【点検・評価と今後の取組】

6月に行ったリズム参観について、保護者アンケート調査によると「お子さんはリズム運動を楽しんでいましたか」という設問に対し、「そう思う」との回答が93.9%であった。また、「参観を通して、普段の生活で不足している運動量を補うため、リズム運動に取り組

んでいることを理解していただけましたか。」という設問に対し、「理解している」との回答が98.5%であった。更に今年度は保護者の声もあり、7月に年中・年長児の保護者を対象としたリズム運動を行ったところ、全体の39.4%の参加があった。「実際に体を動かすことでリズム運動をより理解していただけましたか。」という設問に対し、「理解できた」との回答が100%だった。この結果から参観やクラス懇談会で伝えるだけでなく、実際に保護者が体験できる機会を設けることの重要性を感じた。今後も参観だけでなくクラス懇談会や保護者対象のリズム運動体験を通して、保護者にリズム運動への理解を深めてもらえるよう努力したい。

運動会参観について、保護者アンケート調査によると「プログラムは楽しめる内容でしたか。」という設問に対し、「楽しめた」との回答が年少児保護者は88.9%、年中児保護者は95.5%、年長児保護者は93.9%であり、年少児保護者の回答が年中・年長児保護者に比べて低いという結果であった。また、休日参観について、保護者アンケート調査によると「休日参観は楽しめる内容でしたか。」という設問に対し、「楽しめた」との回答が年少児保護者は80.6%、年中児保護者は87.7%、年長児保護者は93.5%で、年長児に比べて年少・年中児保護者の評価が低いことがわかる。これらの結果から、保護者も園生活を積み重ねることで我が子の成長を感じながら、子どもの見方や子どもの姿の受け止め方を理解していることが伺える。保護者自身が楽しみたいという意識より、目の前の子どもの姿を受け止め、参観そのものを楽しむことができるようになってきていることの表れではないかと思われる。

お店屋さんごっこについて、保護者アンケート調査によると「子どもたちとの関わりを楽しめましたか。」という設問に対し、2016年度は90.5%、2017年度は98.4%であり、「おみせやさんごっこに取り組むお子さんの姿に成長を感じられましたか。」という設問に対し、2016年度は88.9%、2017年度は95.2%とどちらも前年度を上回った。これは、年長児のお店屋さんごっこに対する取組について、クラス懇談会や学年だよりで園児の姿を伝えることで、品物の出来栄や結果ではなく、子どもが店主になりきり生き生きと活動している姿を保護者自身がごっこ遊びを通して感じてもらえた結果だと受け止めている。これからもクラス懇談会や学年だよりを通して保護者の理解が得られるよう努めていく。

(2) 小学校（初等部）との関連

【現状の説明】

本園では、小学校との接続にあたり小学校教育の先取りはしていない。冒頭の「1本園の概要」に記述している通り、3つの教育方針を卒園当日まで大切にしている。つまり、基本的な生活習慣の確立はもとより、挨拶すること、人の話を聞くこと、自分の気持ちを言葉にして伝えること、友だちと遊ぶこと、みんなで力を合わせる事等が、幼児期には特に重要であるため、幼児期に必要なことを園生活では徹底して積み重ねている。また、仲間意識が育ち深まる年長組では、クラス全体で取り組む経験やグループでの活動、皆の前で発表する経験等を取り入れやり遂げることで子どもの自信に繋がりたいと考えている。2015

年に本園の教育課程を作成し、小学校の学習指導要領と本園の教育内容を照らし合わせ、教育内容に小学校の学習への繋がりを確認した。

卒園生の進路状況は、ほとんどの子どもが吹田市内の公立小学校に進学し、数名の子どもが関西大学初等部を含めた私立小学校へ進学している。初等部や他の私立小学校を希望する保護者に対しては、受験を意識した生活によって幼稚園及び家庭での子どもの生活態度に変化が見られる場合があることを伝え、子どもの様子に十分気を付けて過ごすよう助言している。また、以前は3学期に行っていた年長組の個人懇談を2013年度から11月から順次行ない、学校生活に不安を感じる保護者の気持ちを受け止め、子どもの現状や課題を話し合うことで、前向きに園生活を楽しめるように働きかけている。

関西大学初等部には、内部選考を経て最大6名が内部進学でき、2010年の開校以来、在園児保護者対象に入学説明会を5月中旬に行っている。入学説明会には年長児保護者に限らず、初等部に興味や関心を持っている年少・年中児保護者も参加しているが、参加人数は全保護者の2割程度である。

【点検・評価と今後の取組】

関西大学初等部開校から8年目となり、内部進学に6名の枠があることは周知されている。保護者アンケート調査によると、保護者の約41.2%（2014年度、38.7%（以下（）内は2014年度のデータ））が初等部に関心を示しているものの、入園に際しては84.3%（88.5%）の保護者が初等部の入学を視野に入れず本園に入園している。また、本園での初等部の入学説明会に参加した保護者は15.7%（19.7%）と、今年度も2割にも届かない状況からも初等部への入学を考えている保護者は少数であることがわかる。その理由は「高槻ミューズキャンパスに限らず、幼稚園を含めた一貫教育を望みますか」という設問の記述欄の回答から推測できる。望まないと答えた保護者は71.6%（76.8%）で主な理由は、①たくさんのお友達との出会い、別れを経験することにより、人格形成する上では大切なことであると感じる②地域での繋がりを大切にしたい③近隣の小学校が通いやすい等であった。本園の多数の園児が公立小学校へ入学していることから、子どもが小さい間は通学に近い地域の小学校へ行かせたいと考える保護者が多いことがわかる。また、「現在、幼児教室や塾などに通っていますか」という設問に対しては就学前の年長児の場合、85.3%（69.7%）が私学受験を考えていないので通っていないという結果で全体としても75.6%（71.7%）になっていることからわかる。

一方、一貫教育を望んでいる保護者は26.9%（20.8%）で、その主な理由としては、①幼稚園から初、中、高等部と一貫した教育方針で学校生活を送ることは、子どもにとって良いと感じる、②ゆったりと教育を受け、その子どもの個性を伸ばしてゆけるのではと考える、③幼稚園で育んだこと（自分で考える力）が小学校でも引き続き生かされ、良い部分を伸ばしてほしい等をあげている。初等部に限らず他の私学も含め、学習が分断されず、体系的に学べることや、環境の変化に煩わされることが少ないため、安心して過ごせることを望んでいることがわかった。

また、「お子さんが小学校に上がるにあたり、何か心配されていることがありますか」という設問の記述欄の回答に、①幼稚園と小学校の環境の違いに適応できるか、②初めての環境の中で友だちが出来るか、③学習についていけるか、④通学時の安全面等をあげている。これらは、教員の想定内の事柄であり、現状で述べたように個人懇談で直接保護者と話をすることで不安を和らげたり、年度後半のクラス懇談会でも話題に取り上げ保護者が小学校生活に向けて安心して過ごせるようにしている。

就学を目前にした年長児一人ひとりが園生活における様々なことに自信を持って取り組んでいるか、子どもの姿を丁寧に捉えるために、2012年度作成した「発達段階に合わせた到達目標確認シート」を活用し、初等教育を受ける前段階の学びの基礎となる力として“生活する力”“人と関わる力”“自分で考える力”を育み、公立私立を問わず小学校へのスムーズな接続が実現できるよう全教員で取り組んでいきたい。

初等部との関連においては、毎年初等部の教員と懇談する機会を持ち、園から初等部へ進学した子どもの様子を聞く中で、小学校生活の現状を知り、近年の子どもの育ちについての課題や目指している子ども像が初等部と同じであることを確認している。さらに、初等部の教育指導方法から多くのことを学ぶことができ、今後の幼児教育に役立てるとともに、幼児期に必要な教育を貫徹する大切さを強く感じ、日々の保育に生かせるように教員間で確かめ合っている。

(3) 子育て支援

ア 希望（のぞみ）クラスについて

【現状の説明】

希望クラスは、保護者の都合に合わせて子どもを預かるという「預かり保育」や「延長保育」とは異なり、あくまでも子どもにとって無理のない生活リズムを最優先に考え、年間を通して同じ構成メンバーによる保育を積み重ねる特色のあるクラスである。“帰宅後安心して遊ばせる環境がない”“住んでいる地区に同年齢の友だちが少ない”“少しでも長い時間幼稚園で過ごすことが子どものためになる”“異年齢の子どもと交流をさせたい”等の保護者のニーズに応えたものである。また、保護者には降園後は家庭でゆっくりと過ごしていただくようお願いしている。

2012年度までは年長児は5月から、年中児は10月からの週2回(火・金)14時から16時の時間帯で行っていたが、希望者が多く抽選を実施せざるをえなかったことを踏まえ2013年度からは「火・金クラス」「月・木クラス」の2クラスに増設した。開始時期についても、年中児を6月からの利用に変更した。2014年度は年少児をクラスに加え、年長児は4月、年中児は5月から、年少児は9月から始めることにした。また、保育時間を1学期は16:30まで、2・3学期は17:00までとしていたが、2014年度学校評価を受けて2017年度からは年少児を7月から始めることにし、保育時間は14時から17時までとした。これは希望クラスを9年間実施し、子どもたちの様子を見て無理がないと判断したためである。

担当教員は、14時までの保育を終えた子どもたちを迎え、少人数で家庭的な雰囲気の中、兄弟のような関係を築けるよう心掛けている。入室してきた子どもたちは、手洗い・うがいを済ませた後、14時までのクラスとは違った異年齢の友だちと遊び、おやつを食べ、保護者の迎えを待つ。希望クラスの保育室にはじゅうたんを敷きリラックスできるような環境を整え、遊具は少人数で落ち着いて遊べるものを取り入れている。担当教員は希望クラスでの子どもの様子を記録し、担任に知らせることや、担任と話し合うことでその子どもへの理解を深め、共通認識をもって関わることを大切にしている。

【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると「本園の希望クラスは一年を通して保育を積み重ねることを目的としています。実施目的をご存知ですか。」という設問に対して、「そう思う」との回答が2014年度は63.4%、2017年度は75.4%であり、実施目的が伝わっていることがわかる。また、「本園における希望クラスは、子育て支援に有効だと思いますか。」という設問に対しても、「そう思う」との回答が2014年度は64.5%、2017年度は82.1%であった。この結果より、2014年度より子育て支援の有効性を感じてもらえていることがわかる。

「お子さんは、希望クラスに喜んで参加していた(いる)と思いますか。」という設問に対して「そう思う」との回答が2014年度は79.1%、2017年度は75.0%と若干下がる結果となった。A回答が増えるように子ども一人ひとりが心地よく過ごせているかを観察し、より快適に過ごせるようにする。一方、「保護者の方は、希望クラスに参加させて良かったと思いますか。」という設問に対して、「そう思う」との回答が2014年度は83.7%、2017年度は86.4%と若干上回っており、C、D回答は全くなかったことから保護者は満足されていることがわかる。

イ 預かり保育（なないろ）について

【現状の説明】

希望クラスを実施することで、預かり保育の中でも子どもの成長に関わることができることを確信し、2014年度より希望クラスに平行し「預かり保育（なないろ）」を実施している。核家族化で、“一時的に子どもを預けることが困難である”共働きの家庭が増え、“仕事をしている間安心して子どもを預けられる”等保護者のニーズに応えたいと考えはじめた。しかし、保護者には子どもの様子を見て、無理のない利用をお願いしている。

実施日は、月・火・木・金の週4回、午後保育終了後から16時または17時までであった。ただし年少児については園生活に慣れ始めた5月から利用して頂くようにしている。2015年2月より、水曜日を加え週5回とした。2016年度より働く保護者からの要望があり、夏休みや冬休みも数日間、9時から17時の間実施している。保護者は、子どもに無理のない時間を選択し参加している。

担当教員は預かり保育での子どもの様子を記録し担任に知らせることや、担任と話し合

うことで子どもへの理解を深め、共通認識をもって関わることを大切にしている。

【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると、「本園の預かり保育（なないろ）は保護者の都合に合わせて利用できること目的としています。実施目的をご存知ですか。」との設問において、「そう思う」との回答が2014年度は88.7%、2017年度は95.4%であり、この結果より預かり保育（なないろ）が周知されていることがわかる。また、「本園における預かり保育（なないろ）は、子育て支援に有効だと思いますか。」という設問に対しても、「そう思う」との回答が2014年度は78.5%、2017年度は86.2%であった。この結果より、長期休みの要望に応えたことで、より子育て支援に有効だと思ってもらえたのではないかと推察する。「預かり保育を利用したことがありますか」という設問に対して、「利用した」との回答が2014年度は68.3%、2017年度は87.2%と上回っていた。利用した主な理由は用事が多く、次が仕事で、安心して子どもを預けられる場所として活用されていることがわかる。「お子さんは、預かり保育（なないろ）に喜んで参加していた（いる）と思いますか。」との設問に対して「そう思う」との回答が2014年度は79.5%、2017年度は66.3%と下がる結果となった。その主な理由として、年少・年中児は初めての環境に戸惑ったということがわかった。その結果を受けて、日によって参加メンバーや人数が変化することによる子どもの不安な気持ちは想定内のことであったが、はじめて参加する子どもを把握する等子どもが安心して過ごせるようにより一層工夫する。子どもが喜んで参加していなかった理由の一つに保護者の事情で預けられているので、早く帰宅したいという気持ちがあったとも想像できる。

ウ 2歳児親子教室について

【現状の説明】

入園前の親子を対象にあやし遊びや、わらべうた等の素朴な親子遊び、木でつくられた玩具等で遊ぶ室内遊びや、ホール・園庭での運動遊びを通して、子どもと向き合う楽しさを感じてもらうための取組である。

2005年度に2歳児親子教室を開設してから今年度で13年目を迎えた。それぞれの親の様々な考え方や子育て観がある中、本園の教育方針に触れ、子どもの成長、発達の道筋に即した2歳児本来の姿を知ってもらう機会となるよう考え取り組んでいる。

本園の特徴を感じてもらえるようなこれまでの内容に加え、2013年度からは親子で一緒に遊ぶ機会を増やした。保護者に対しては、目の前で遊んでいる子どもの言動を見ながら、親としての関わり方や遊びの見方を伝えている。2013年度より年間19回、2クラスから3クラスに増設して希望者の多くが入室できるようにしている。また、2014年度より2歳児親子教室の方を対象とした園庭開放を実施している。

【点検・評価と今後の取組】

実際に子どもたちが遊んでいる姿を見ながら保護者と話げできたので、子どものことを

一緒に考えたり、子どもへの関わり方を具体的に伝えることができた。親子教室を通して、親子遊びだけでなく、おやつ、絵本など、素朴なものの良さを保護者が感じる機会になっていた。

また、保護者との会話の中で家庭での過ごし方や関わり方を伺うことができ、それぞれの子どもに合ったアドバイスができた。

また、在園している保護者の中で2歳児親子教室に参加した方を対象にしたアンケート調査によると「2歳児親子教室は子育て支援に有効だと思いますか。」という設問に対して「そう思う」との回答が90.2%、「ややそう思う」との回答が9.8%と、2歳児親子教室が子育て支援に有効な手立てとして取り組んでいることがわかる。

エ 教育相談について

【現状の説明】

関西大学臨床心理専門職大学院教授と関西大学心理相談室カウンセラーによる専門的な教育相談を毎月2回設けている。また、園長による子育て相談は、希望される方に連絡帳で申し出てもらい、相談時間を保育時間中に設定している。

担任以外に専門家や園長との相談の窓口を設けることで、保護者の心の安定を図り、子どもとの関係をより良い方向に導けるよう努めている。

【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると「本園では子育ての不安を和らげることを目的とした教育相談という制度を設けています。この教育相談の存在をご存じですか。」という設問に対して「知っている」「なんとなく知っている」との回答が95.9%と、ほとんどの保護者が存在を知っている。その中でも「知っている」との回答が2014年度は62.9%だったが、2017年度は69.7%と、教育相談の存在を知っている保護者が増えてはいるが、まだ十分に周知されているとは言えない結果である。したがって、これまでは便りだけで知らせていたが、今後はクラス懇談会でも伝えるようにしていく。「教育相談を受けたことがありますか。」という設問に対して「よくある」「数回ある」「1、2回ある」との回答が合わせて、2014年度は8.5%、2017年度は13.9%とごく少人数である。あまり利用されていない理由として、まだ保護者には重い悩みの相談室という印象をもたれている可能性が考えられる。しかし違う視点で考えると、園で行われている個人懇談や連絡帳、園からの発信物等により、重い悩みになる前に解決できており、現在、教育相談を利用する必要がない環境であるとも推察できる。

オ 「関大幼稚園で遊びませんか」について

【現状の説明】

2012年度から3年保育への入園を検討している親子を対象に「関大幼稚園で遊びませんか」を設けている。在園児の保育に支障のないよう、参加の親子を6組に制限している。

在園児と共に園庭で遊ぶことで幼稚園の雰囲気を感じ、また本園の保育や子ども観に興味を持ってもらうことを目的とし、園長は園庭で遊ぶ親子を見守りながら子育てを楽しめるように助言したり、心配事に耳を傾け、一緒に考える機会をもつようにしている。

【点検・評価と今後の取組】

園庭で年中児や年長児の遊んでいる姿や、参加者の子どもと在園児が関わっている姿を見て、園の保育や雰囲気を感じていただくことができていた。保護者の話では、遊びませんかに参加したことが入園を決めるきっかけになったという保護者も多かった。

また、園長と話す機会があることで、保護者が子育てについて考えられる機会となっていると感じる。

（４） 施設・設備

【現状の説明】

園舎については、安全を第一に考え、問題があれば即座に対応し修理改善を行い安全整備に努めている。

固定遊具の安全については、毎年春に業者による安全点検を実施しているが、常時各教員が安全確認の意識を持ち行動するとともに、学期に1度全教員で園内を巡回し園児に危険がないよう安全点検を行っている。

保育室内の環境については、2015年度に保育室の子ども用の棚を新しく入れ替えた。園児が心地よく安心して過ごし、楽しく遊びを展開できるよう、年度初めに各保育室を園長と教頭、教員で点検している。園の花壇で育てた花や園児が園内で見つけた落ち葉や木の実を飾る為に「季節のテーブル」を設け、また、棚の上や靴箱の上にも常に花を飾り、季節を感じられるようにしている。

自然環境については、恵まれた環境を積極的に保育に取り入れ、園内の散歩の折には咲いている花や実のなる樹木の変化などに子どもが目を向け季節を感じられるように働きかけている。恵まれた自然環境を保育に生かすためには園内の整備と草花・樹木への理解が重要であると考え、園内の草花や樹木については、季節の花・野草・ハーブ・実のなる木・樹木に分けて一覧表を作り全教員が知識を深められるようにしている。

2015年度には大学のバリアフリー化の工事に伴い、管理棟裏にあった倉庫を撤去し、ホールのボイラー室を改装し倉庫とした。また、ホールで保護者が使用するパイプいすと調理室の棚を購入し、入れ替え作業を行った。2016年度には正門のリニューアル工事を行い、子どもの体調不良の際のお迎え等や緊急時に保護者が自転車を駐輪できるようにスペースを門の横に設け、教職員は正門横の通用口からカードキーで出入りできるようにした。さらに、園内すべてのトイレの改装工事、年長組の廊下の張替え工事を行った。2017年度には「おはなしの部屋」と用務員室にエアコンを設置した。

2010年度より課題に上がっていた絵本の部屋の整備については、大地震に備え危機管理の観点から安全なスペースを確保できるよう、2015年度の夏休みに棚の配置換え及び固定

を行った。また、これまで修理をしながら大切にしてきた古い絵本の点検及び処分をし、新しく500冊の絵本を購入し入れ替え作業を行った。

【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査において「子どもたちが園生活を過ごしやすいように環境整備ができていますか。」という設問に対して「そう思う」との回答が2014年度は80.1%、2017年度は83.1%に、「幼稚園の季節の花々や樹木、実のなる木などは、子どもたちが四季を感じられるように整備されていると思いますか。」という設問に対して「そう思う」との回答が2014年度は93.0%、2017年度は94.4%に、「保育室は子どもたちが生活しやすいように環境が整えられていると思いますか。」という設問に対して「そう思う」との回答が2014年度は87.6%、2017年度は87.7%という回答が得られていることから、いずれも3年前と比べてより多くの保護者が園の環境に満足していることがわかる。この結果に満足するのではなく、今後も教員全員が環境整備について高い意識を持ち続けることと、園内の草花や樹木への知識をより深める努力を続け、園児に四季の移り変わりを伝えられるようにする。

安全面においては「幼稚園の施設・設備は安全に配慮されていると思いますか。」という設問に対して「そう思う」との回答が2014年度は75.8%、2017年度は85.6%という回答が得られていることから、より多くの保護者が幼稚園の施設・設備は安全に配慮されていると感じていることがわかる。

2014年度に大規模災害や不審者侵入など、緊急事態に備えて危機管理マニュアルを作成し、様々な場面を想定した避難訓練を行ってきた。プール保育中の避難経路としてプール裏側に緊急避難用出口を増設し避難訓練を行ってきたが、緊急避難用出口から園外への経路が確保できないことが新たな課題として浮上した。これを受けて、園外への避難が安全かつスムーズにできるよう、更に緊急避難用出口の増設の検討を始めている。

5 学校関係者評価委員会からの評価結果

〈自己点検・評価の適切性〉

関西大学幼稚園では自己点検・評価の内容を3分類し、3年で一巡する形で評価をしており、2017年度は保護者への働きかけ、小学校（初等部）との関連、子育て支援、施設・設備について行っている。これらの自己点検・評価は三巡目であることから、過去2回との比較が随所にみられる。そして、ほとんどすべての項目で1回目より2回目、2回目よりも今回が高い評価を得ており、本園がその時々々の評価の結果に慢心することなく、一つ一つのことを地道に進め、積み上げてきていることがよくわかる。園のシステム、教職員の教育への姿勢、保護者の協力、そのいずれが欠けても子どもの健やかな成長は望めない。人々や機関が思いを一にして関わることで子どもは自我を形成し、その能力を発揮するのである。本年度の自己点検・評価は、本園が行っている教育のあり方を保護者が理解し、園が保護者の保育ニーズを理解する上で重要な点を中心に適切に評価が行われている。

〈重点的な取組の適切性〉

本年度の自己点検・評価は、個人懇談や園だより等の直接的、間接的な「保護者への働きかけ」、卒園後に入学する「小学校（初等部）との関連」、保護者の保育ニーズに応える「子育て支援」、子どもたちが日々過ごす園の「施設・設備」である。

「保護者への働きかけ」の中の直接的働きかけは、個人懇談や懇談会、連絡帳等 6 種類行われているが、これらの中で今年度さらに充実した取組が個人懇談である。学年の特性を捉えて開始時期を工夫することにより、前回よりも保護者の高い評価を得ている。これは個人懇談が子どもに対する教員と保護者の相互理解を深め、子どもの育ちをともに考え支援するものとして適切に機能していることを示している。このほかにも園だより等 5 種類の保護者への間接的な働きかけ、講演会、講習会、保育参観と非常にきめ細かな保護者への働きかけのすべてが保護者から高い評価を得ている。

「小学校（初等部）との関連」は毎年初等部の教員と懇談する機会を持ち、小学校生活の現状を知り、初等部の教育指導方法も学ぶ中で、幼児期に必要な教育のあり方を再確認し、日々の教育に生かしている。

そして何よりも大きな本園の特徴は、小学校教育の先取りをしないという基本姿勢である。学校教育法第 22 条では幼児教育の目的を、幼児にふさわしい環境を用意して、望ましい方向に心身の発達が促進されるように指導することにあると謳っているが、本園の教育はまさしくこの幼稚園教育の目的を果たすものである。

次に、共働き世帯が多いという社会情勢の中にあって、「子育て支援」は幼稚園教育要領の中でも重要視されており、本園もその社会的使命を果たしている。しかし、本園の特徴は保護者の事情に合わせて預かり保育をする「なないろ」に加えて、「希望クラス」という年間を通じて同じ構成メンバーで保育を積み重ねる預かり保育を行っていることである。いずれも保護者の要望に応え、クラスを増設したり、保育時間を延長している。これに関わる教員の負担は相当のものと推察されるが、もし本園での支援がなければ、子どもたちはどこか見知らぬ施設に預けられ、不安を感じながら過ごすことになることは容易に想像できる。だからこそ、本園は子どもの安寧のために、子育て支援を行っているのであろう。

また、園の「施設・設備」は子どもの安全に直結するため、園舎、遊具、個々の保育室は必要に応じて修理・整備されていることから、保護者は環境整備や安全への配慮について満足していると考えられる。

〈自己点検の結果を踏まえた改善方策の適切性〉

自己点検・評価は本年度で三巡したが、9 年間に亘って積み重ねたアンケートの結果は、今後、本園の運営を行う上で大切な指標となっていくであろう。

学年ごとの教育カリキュラムは毎年同じであるが、それを学ぶ子どもたちは毎年入れ替わっている。教育はとても地道な営為であり、周りからは毎年同じような教育をしている

ように見えるかもしれない。しかし、回を追うごとに評価が高くなっているのは、担任をはじめとする教員が、その年年の子どもの状態を的確に把握し、その子たちに合った教育をしているからにほかならないのである。十年一日のような教育ではこのような高い評価はありえないであろう。

ところで、本年度の中期行動計画にある「考動力ある人材育成に資するためのつながり（連携）の強化」の内容は、2017（平成 29）年 3 月に改訂された幼稚園教育要領の、一人一人の資質能力を社会との連携および協働により育成していくという姿勢に通ずるものである。幼児期から人や社会とつながりを持って生きていく力を育むために、教職員は一体となって子どもたちの教育に取り組んでいる。この人とつながる力がやがて社会における人との関係づくりの土台となり、自ら考えて行動する力へと培われていくのであろう。

【学校関係者評価委員会委員名簿】

氏名	所属及び役職
北村 由美	関西大学大学院 心理学研究科 教授 ※評価結果取りまとめ執筆者
大谷 裕美子	関西大学幼稚園 はぐくみの会 会長
和田 千里	関西大学幼稚園 卒園生保護者
味園 貴子	関西大学幼稚園 卒園生保護者
石倉 千世	関西大学幼稚園 園長

6 「学校評価（自己点検・評価）報告書」に対する園長の意見書

関西大学幼稚園

園長 石倉 千世

本園の教育は、“子どもの育ち”に焦点を合わせ過程に重きを置いていることから、成果が目に見えにくいものとなっている。この点については、機関紙「はぐくみ」に本園の教育への理解を示してくださる寄稿が多いことから、本園の教育の特色が理解されていることが伺える。また、外部評価委員の方々より頂いた評価結果を、翌年には必ず改善するよう全教員で検討し進めていくことで、本園の教育がより確かなものになっていくことを実感している。2009 年度から手探りで始めた学校評価（自己点検・評価）であったが、2012 年度より複数の項目を大きく 3 つに分類し、3 年かけて一巡する取組にした。今年度の学校評価をもって 3 巡し、本園のすべての教育を 3 度見直した。見直す際には、保護者アンケートの数字を今後の取組の参考にしたことは言うまでもないが、数字の上昇や下降に一喜一憂するのではなく、保護者の声により時代の流れや世の中の変化をつかみ、変化する時代の中での幼児教育の重要性をいかに保護者に伝えていくか、その工夫と努力に努めなければならないと感じており、年々使命感が増している。

学校評価に取り組み始めてからの 9 年間において、子ども自身の成長の姿に大きな変化はないと理解している。けれど世の中は大きく変化した。女性の社会進出を促すために幼

稚園と保育園を一体化した認定子ども園の設置や、預かり保育が大いに利用される等、親と子どもとの接触時間が明らかに短くなっている。世の中の変化に合わせて保護者の子育てに関する考え方や子どもへの関わり方が変化し、それによって子どもの育ちぶりには変化がみられる。学校評価に関する保護者アンケートによると、本園の教育方針に理解を示す数字は上昇しているが、自由記述欄において子育てに関する具体的なアドバイスを求める記述もあった。また参観においては、保護者自身も楽しみたいと思う傾向が顕著に表れている。このことから、保護者自身が子どもの育ちについて考え、親としてあるべき態度を深めるということが、難しい時代になったように思われる。このような状況にあたり、保護者への啓蒙が必要であるのは確かであろうが、理論や理屈ではなく、保護者が子どもへの慈しみの愛情を持ち、楽しい子育てが実践できるよう、また、子どもが子どもらしく豊かに育っていけるよう、そのことに全力で取り組みたいと考える。

2014年度学校評価に関する外部評価報告書においてある外部評価委員から、「幼児期には幼児期の本来の意義と課題があることは教育学の上では常識に属することである。幼稚園の創始者フレーベルは、一つ一つの発達段階を真に生きたものだけが本当の人間になることができる、これを飛び越えようとするとその歪みは取り返しのつかないものとなると強調している。」という一文文面をもって、本園の小学校教育の先取りをしない、幼児期に必要な教育の実践を評価頂いている。このことを肝に銘じたい。本園の教育方針を机上の空論にし、教員は子どもや保護者に対して、「～しているつもり」では通用しない時代である。教員は自分の言動がクラスの子どもの変化・成長に大きな影響を与えることは十分承知しており、その原因を分析して対策を立て、真摯に向き合うことはこの学校評価の取組で学んだといえよう。

次年度からは、時代の変化の中にあつて ←どのように保護者と向き合い、どのように寄り添うことが、子どもの成長に役立つのかに焦点をあてた ←新たな学校評価への取組にしたいと考えている。

7 アンケート結果

- 2017年度 実施対象者別アンケート結果比較一覧表
- 2017年度 保護者対象 学校評価に関するアンケート集計結果
- 2017年度 保護者アンケート詳細項目結果
- 2017年度 保護者対象 初等部に関するアンケート集計結果
- 2017年度 保護者対象 参観に関するアンケート集計結果
- 2017年度 関西大学幼稚園 学校評価に関する教員対象アンケート（用紙）
- 2017年度 関西大学幼稚園 学校評価に関する保護者対象アンケート（用紙）
- 2017年度 関西大学幼稚園 初等部に関する保護者対象アンケート（用紙）
- 2017年度 関西大学幼稚園 参観に関する保護者対象アンケート（用紙）

以上

項目	保護者用アンケート 設問	A	B	C	D	無記入	教員用アンケート 設問	A	B	C	D	無記入
＜施設・設備についておたずねします。＞	(3) 保育室は子どもたちが生活しやすいように環境が整えられていると思いますか。	87.7%	10.8%	1.0%	0.0%	0.5%	③保育室は子どもたちが生活しやすい環境を整えるよう努めていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	(4) 幼稚園の施設・設備は安全に配慮されていると思いますか。	85.6%	12.3%	1.5%	0.0%	0.5%	④園地・園舎の施設を管理し、遊具・用具などの整備を計画的に行い、複数の目で定期的に安全点検を行っていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
＜2歳児親子教室についておたずねします。＞	① 2歳児親子教室に参加しましたか	31.9%	68.1%	0.0%	0.0%	0.0%						
							③ 2歳児親子教室に子どもたちは喜んで参加していたと思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							⑥ 2歳児親子教室に保護者は満足されたと思いますか。	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
							① 2歳児親子教室の意義を理解していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							② 2歳児親子教室は、子育て支援に有効だと思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
＜初等部についておたずねします。＞							①高槻ミューズキャンパス内の関西大学初等部に関心がありますか。	10.7%	30.5%	37.1%	21.8%	0.0%
							②初等部への入学を視野に入れて、関西大学幼稚園への入園を希望しましたか。	5.1%	10.2%	53.8%	30.5%	0.5%
							③在園児保護者対象の入学説明会の時期は適切であると思いますか。	54.8%	41.1%	2.0%	1.0%	1.0%
							④ 本園での、初等部の入学説明会に参加されましたか。	15.7%	84.3%	0.0%	0.0%	0.0%
							* 「参加した」と答えた方にお聞きします。説明内容についてどう思われましたか。	77.4%	22.6%	0.0%	0.0%	0.0%
						⑤現在高槻ミューズキャンパスにおいて、初等部・中等部・高等部の12年間一貫教育を行っていますか、高槻ミューズキャンパスに限らず、幼稚園を含めた一貫教育を望みますか。	9.1%	17.8%	47.2%	24.4%	1.5%	

項目	保護者用アンケート 設問	A	B	C	D	無記入	教員用アンケート 設問	A	B	C	D	無記入
＜初等部 についてお たずねしま す。＞	⑥初等部に限らず私学の小学校に関心がありますか。	11.2%	24.9%	41.6%	22.3%	0.0%						
	⑦現在、幼児教室や塾などに通っていますか。	6.1%	9.6%	8.1%	75.6%	0.5%						

2017年度 関西大学幼稚園 保護者アンケート結果一覧表

項目	設問	設問						無記入	A	B	C	D	無記入
		A	B	C	D	無記入							
＜保護者の皆さまへの園からの『おたより』についておたずねします。＞	(1) 『園だより』は教育方針や保育観、園全体の取り組みを伝える目的で発行していることを、ご理解いただいていますか。	全体	94.4%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%	94.4%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
		年少	95.2%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	95.2%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		年中	92.6%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	92.6%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
＜保護者の皆さまへの園からの『おたより』についておたずねします。＞	(2) 『学年だより』は学年の取り組みや子どもの様子を伝える目的で発行していることを、ご理解いただいていますか。	全体	94.9%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%	94.9%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		年少	95.2%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	95.2%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		年中	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
＜保護者の皆さまへの園からの『おたより』についておたずねします。＞	(3) 『食育だより』は季節や行事の食に関する事柄や取り組みなどを伝える目的で発行していることを、ご理解いただいていますか。	全体	94.9%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%	94.9%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		年少	96.8%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	96.8%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		年中	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
＜保護者の皆さまへの園からの『おたより』についておたずねします。＞	(4) 『通園だより』は普段から交通ルールを守り、公共のマナーに目を向けることが子どもの社会性を促すものと考え発行しています。その意図をご理解いただいていますか。	全体	96.9%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	96.9%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		年少	96.8%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	96.8%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		年中	95.6%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	95.6%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
＜懇談会等についておたずねします。＞	(1) クラス懇談会でお伝えする園生活の様子や教育内容を通して、本園の教育方針が伝わっていますか。	全体	85.6%	13.3%	0.5%	0.5%	0.0%	85.6%	13.3%	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%
		年少	87.3%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	87.3%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		年中	82.4%	16.2%	1.5%	0.0%	0.0%	82.4%	16.2%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%
＜子育て支援についておたずねします。＞	(2) 個人懇談会はお子さんの成長や発達を考えると有意義なものとなっていますか。	全体	88.2%	11.3%	0.5%	0.5%	0.0%	88.2%	11.3%	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%
		年少	88.9%	9.5%	1.6%	0.0%	0.0%	88.9%	9.5%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
		年中	83.8%	16.2%	0.0%	0.0%	0.0%	83.8%	16.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(1) 希望クラスについて	①本園の希望クラスは一年を通してクラス集団として保育を積み重ねることを目的としています。実施目的をご存じですか。	全体	75.4%	23.1%	0.5%	0.5%	1.0%	75.4%	23.1%	0.5%	0.5%	1.0%	0.0%
		年少	74.6%	22.2%	1.6%	0.0%	0.0%	74.6%	22.2%	1.6%	0.0%	0.0%	1.6%
		年中	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(1) 希望クラスについて	②本園における希望クラスは、子育て支援に有効だと思いますか。	全体	82.1%	15.4%	1.5%	1.5%	1.0%	82.1%	15.4%	1.5%	1.5%	1.0%	1.6%
		年少	79.4%	17.5%	1.6%	0.0%	0.0%	79.4%	17.5%	1.6%	0.0%	0.0%	1.6%
		年中	88.2%	10.3%	1.5%	0.0%	0.0%	88.2%	10.3%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%
(1) 希望クラスについて	③参加すると考えた場合、子どもの観点から何時までが適切な預かり時間だと感じますか。以下の中から1つ選んでください。	全体	31.3%	63.6%	2.6%	2.6%	2.1%	31.3%	63.6%	2.6%	2.6%	2.1%	3.2%
		年少	26.5%	69.1%	2.9%	0.0%	0.0%	26.5%	69.1%	2.9%	0.0%	0.0%	1.5%
		年中	28.1%	70.3%	0.0%	0.0%	0.0%	28.1%	70.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%
(1) 希望クラスについて	④参加すると考えた場合、保護者の観点から最長何時までを希望されますか。以下の中から1つ選んでください。	全体	7.7%	57.9%	30.8%	30.8%	2.1%	7.7%	57.9%	30.8%	30.8%	2.1%	1.6%
		年少	9.5%	55.6%	31.7%	1.6%	1.6%	9.5%	55.6%	31.7%	1.6%	1.6%	1.6%
		年中	10.3%	51.5%	33.8%	0.0%	0.0%	10.3%	51.5%	33.8%	0.0%	0.0%	4.4%
(1) 希望クラスについて	⑤希望クラスに参加経験がありますか。	全体	22.6%	76.9%	0.0%	0.0%	0.5%	22.6%	76.9%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%
		年少	12.7%	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%	12.7%	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%
		年中	22.1%	77.9%	0.0%	0.0%	0.0%	22.1%	77.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(1) 希望クラスについて		全体	32.8%	67.2%	0.0%	0.0%	0.0%	32.8%	67.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		年少	32.8%	67.2%	0.0%	0.0%	0.0%	32.8%	67.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		年中	32.8%	67.2%	0.0%	0.0%	0.0%	32.8%	67.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

項目	設問	設問						無記入	無記入
		A	B	C	D	無記入			
<施設・設備についておたずねします。>	(1) 子どもたちが園生活を過ごしやすいように環境整備ができていますか。	全体	83.1%	14.9%	1.0%	0.5%	0.5%	0.0%	1.6%
		年少	82.5%	15.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%
		年中	79.4%	16.2%	2.9%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	(2) 幼稚園の季節の花々や樹木、実のなる木などは、子どもたちが四季を感じるように整備されていると思いますか。	全体	94.4%	5.1%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%
		年少	93.7%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%
		年中	95.6%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	(3) 保育室は子どもたちが生活しやすいように環境が整えられていると思いますか。	全体	87.7%	10.8%	1.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%
		年少	90.5%	7.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%
		年中	85.3%	11.8%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	(4) 幼稚園の施設・設備は安全に配慮されていると思いますか。	全体	85.6%	12.3%	1.5%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%
		年少	85.7%	11.1%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%
		年中	86.8%	10.3%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
<2歳児親子教室についておたずねします>	① 2歳児親子教室に参加しましたか	全体	31.9%	68.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		年少	38.5%	61.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		年中	28.8%	71.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	*Aと答えた方にAの項目についておたずねします。	全体	90.2%	9.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		年少	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		年中	89.5%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	ア. 2歳児親子教室は子育て支援に有効だと思いますか。	全体	76.5%	23.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		年少	76.5%	23.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		年中	76.5%	23.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

2017年度 関西大学幼稚園 保護者アンケート詳細項目結果

<子育て支援について>

(1) 希望 (のぞみ) クラスについて

ア お子さんは、希望クラスに喜んで参加していた (いる) と思いますか。

- ㉔ そう思う
- ㉕ ややそう思う
- ㉖ あまりそう思わない
- ㉗ そう思わない

【1】

㉔ または㉕ と答えた方は主な理由を以下の中から1つ選んでください。

	年少	年中	年長	全体
・同じメンバーで遊べることを喜んでいる	2	1	9	12
・異年齢で遊ぶことを楽しみにしている	2	8	2	12
・希望クラスとしての意識が芽生える	1	2	2	5
・十分遊べる	2	3	5	10
・おやつを楽しみにしている	0	0	1	1
・その他	0	0	0	0
無回答	1	0	1	2

【2】

㉔ または㉕ と答えた方は主な理由を以下の中から1つ選んでください。

	年少	年中	年長	全体
・いろいろな子どもと関わりたい	0	0	0	0
・異年齢との遊びを嫌がる	0	0	0	0
・17時になったことを負担に感じる	0	0	1	0
・その他	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0

イ保護者の方は、希望クラスに参加させて良かったと思いますか。

- ㉔ 良かった
- ㉕ まあまあ良かった
- ㉖ あまり良くなかった
- ㉗ 良くなかった

【3】

⑨または⑩と答えた方は主な理由を以下の中から1つ選んでください。

	年少	年中	年長	全体
・メンバーが決まっていることで関係が深まる	2	4	8	14
・異年齢で遊ぶことによって成長を感じる	2	8	9	19
・少人数で家庭的な雰囲気を感じる	1	3	3	7
・その他	2	0	0	2
無回答	1	0	1	2

【4】

⑪または⑫と答えた方は主な理由を以下の中から1つ選んでください。

	年少	年中	年長	全体
・異年齢との遊びが楽しめない	0	0	0	0
・少人数での遊びが物足りない	0	0	0	0
・その他	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0

(2) 預かり保育（なないろ）について

アお子さんは、預かり保育（なないろ）に喜んで参加していた（いる）と思いますか。

⑬そう思う

⑭ややそう思う

⑮あまりそう思わない

⑯そう思わない

【5】

⑰または⑱と答えた方は主な理由を以下の中から1つ選んでください。

	年少	年中	年長	全体
・いろいろな子どもと遊べることを楽しみにしている	26	29	40	95
・なないろの遊具で遊べることを喜んでいる	8	13	10	31
・おやつを楽しみにしている	6	3	4	13
・その他	2	1	3	6
無回答	0	0	2	2

【6】

◎または㊸と答えた方は主な理由を以下の中から1つ選んでください。

	年少	年中	年長	全体
・遊ぶ友だちがいなかった	4	3	1	8
・はじめての環境に戸惑っていた	6	7	1	14
・その他	0	1	0	1
無回答	0	0	0	0

イ保護者は、なないろに参加させて良かったと思いますか。

㊸良かった

㊹まあまあ良かった

㊺あまり良くなかった

㊻良くなかった

【7】

◎または㊸と答えた方は主な理由を以下の中から1つ選んでください。

	年少	年中	年長	全体
・用事を済ませることができた	25	19	28	72
・子どもが喜んでいて	10	19	15	44
・園の安全な環境で遊ばせることができた	12	12	10	34
・その他	3	2	3	8
無回答	2	5	4	11

【8】

◎または㊸と答えた方は主な理由を以下の中から1つ選んでください。

	年少	年中	年長	全体
・園まで迎えに行くのが大変だった	0	0	0	0
・子どもがあまり喜んでいなかった	0	2	0	2
・その他	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0

【9】

ウ主にどのような理由で利用しましたか。

	年少	年中	年長	全体
㊤仕事のため	6	6	2	14
㊦用事のため	36	41	37	114
㊧その他	5	10	8	23
無回答	5	2	14	21

以下の質問について該当するものに○印をつけてください。

<初等部についておたずねします。>

- ① 高槻ミュージックキャンパスにある関西大学初等部と連携を深めるにあたり、授業内容や実情の把握に努めていますか。
- A 努めている
 - B やや努めている
 - C あまり努めていない
 - D 努めていない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

()

- ② 在園児保護者対象の入学説明会の時期は適切であると思いますか。

- A そう思う
- B ややそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

C、Dと答えた方はいつ頃が良いと思いますか。()

- ③ 高槻ミュージックキャンパスにおいて初等部、中等部、高等部の12年間一貫教育を行っていますが、高槻ミュージックキャンパスに限らず、幼稚園を含めた一貫教育を望みますか。

- A 望む
- B やや望む
- C あまり望まない
- D 望まない

A、Bと答えた方はその理由をお書きください。

()

C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

()

<保護者への働きかけについておたずねします。>

- ① 「園だより」では教育方針や保育観、園全体の取り組みが伝わるように努めていますか。
- A 努めている
 - B やや努めている
 - C あまり努めていない
 - D 努めていない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

()

② 「学年だより」では学年の取り組みや子どもの様子が伝わるよう努めていますか。

- A 努めている
- B やや努めている
- C あまり努めていない
- D 努めていない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

()

③ 「食育だより」では季節や行事の食に関する事柄や取り組みが伝わるよう努めていますか。

- A 努めている
- B やや努めている
- C あまり努めていない
- D 努めていない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

()

④ 「通園だより」では普段から交通ルールを守り、公共のマナーに目を向けることが子どもの社会性を促すものと考え発行しています。園の考えが伝わるよう努めていますか。

- A 努めている
- B やや努めている
- C あまり努めていない
- D 努めていない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

()

⑤ クラス懇談会において、園生活や教育内容を通して、本園の教育方針を理解してもらえるよう保護者へ話をすることができましたか。

- A できた
- B まあまあできた
- C あまりできなかった
- D できなかった

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

()

⑥ 個人懇談会では、子どものことを保護者と一緒に考える時間を持てましたか。

- A 持てた
- B やや持てた
- C あまり持てなかった
- D 持てなかった

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

()

<子育て支援についておたずねします。>

(1) 希望（のぞみ）クラスについて

① 希望クラスの実施目的を保護者に伝えるよう努めましたか。

- A 努めた
- B やや努めた
- C あまり努めなかった
- D 努めなかった

② 希望クラスは、子育て支援に有効だと思いますか。

- A そう思う
- B ややそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

CまたはDと答えた方はその理由と有効にするためにはどうすればよいかお書きください。
()

③ 参加園児は、希望クラスに喜んで参加していたと思いますか。

- A そう思う
- B ややそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。
()

④ 参加園児の保護者の方は、希望クラスに参加させて満足されたと思いますか。

- A そう思う
- B ややそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。
()

(2) 預かり保育（なないろ）について

① 預かり保育（なないろ）の実施目的を保護者に伝えるよう努めましたか。

- A 努めた
- B やや努めた
- C あまり努めなかった
- D 努めなかった

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。
()

② 預かり保育（なないろ）は、子育て支援に有効だと思いますか。

- A そう思う
- B ややそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

C または D と答えた方はその理由と有効にするためにどうすればよいかをお書きください。
()

③ 参加園児は、預かり保育（なないろ）に喜んで参加していたと思いますか。

- A そう思う
- B ややそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

C または D と答えた方はその理由をお書きください。
()

⑤ 預かり保育（なないろ）を利用された保護者は満足されていたと思いますか。

- A そう思う
- B ややそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

C または D と答えた方はその理由をお書きください。
()

(3) 2歳児親子教室について

① 2歳児親子教室の意義を理解していますか。

- A 理解している
- B やや理解している
- C あまり理解していない
- D 理解していない

C または D と答えた方はその理由をお書きください。
()

② 2歳児親子教室は、子育て支援に有効だと思いますか。

- A そう思う
- B ややそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

C または D と答えた方はその理由と有効にするにはどうすればよいかをお書きください。
()

③ 2歳児親子教室に子どもたちは喜んで参加していたと思いますか。

- A そう思う
- B ややそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

C または D と答えた方はその理由をお書きください。

()

⑥ 2歳児親子教室に保護者は満足されたと思いますか。

- A そう思う
- B ややそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

C または D と答えた方はその理由をお書きください。

()

(4) 教育相談（園長によるものを含む）について

① 教育相談の意義を理解していますか。

- A 理解している
- B やや理解している
- C あまり理解していない
- D 理解していない

C または D と答えた方はその理由をお書きください。

()

② 教育相談は、子育て支援に有効だと思いますか。

- A そう思う
- B ややそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

C または D と答えた方はその理由をお書きください。

()

<施設、設備についておたずねします。>

① 子どもたちが園生活を過ごしやすいうように環境整備に努めていますか。

- A 努めている
- B やや努めている
- C あまり努めていない
- D 努めていない

C または D と答えた方はその理由をお書きください。

()

② 季節の花々や樹木など、子どもたちが四季を感じられる環境を整えるように努めていますか。

- A 努めている
- B やや努めている
- C あまり努めていない
- D 努めていない

C または D と答えた方はその理由をお書きください。

()

③ 保育室は子どもたちが生活しやすい環境を整えるよう努めていますか。

- A 努めている
- B やや努めている
- C あまり努めていない
- D 努めていない

C または D と答えた方はその理由をお書きください。

()

④ 園地・園舎の施設を管理し、遊具・用具などの整備を計画的に行い、複数の目で定期的に安全点検を行っていますか。

- A 行っている
- B やや行っている
- C あまり行っていない
- D 行っていない

C または D と答えた方はその理由をお書きください。

()

以下の質問について該当するものに○印をつけてください。

<保護者の皆さまへの園からの『おたより』についておたずねします。>

(1)『園だより』は教育方針や保育観、園全体の取り組みを伝える目的で発行していることを、ご理解いただいていますか。

- A 理解できている
- B まあまあ理解できている
- C あまり理解できていない
- D 理解できていない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください

()

(2)『学年だより』は学年の取り組みや子どもの様子を伝える目的で発行していることを、ご理解いただいていますか。

- A 理解できている
- B まあまあ理解できている
- C あまり理解できていない
- D 理解できていない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください

()

(3)『食育だより』は季節や行事の食に関する事柄や取り組みなどを伝える目的で発行していることを、ご理解いただいていますか。

- A 理解できている
- B まあまあ理解できている
- C あまり理解できていない
- D 理解できていない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください

()

(4)『通園だより』は普段から交通ルールを守り、公共のマナーに目を向けることが子どもの社会性を促すものと考え発行しています。その意図をご理解いただいていますか。

- A 理解できている
- B まあまあ理解できている
- C あまり理解できていない
- D 理解できていない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください

()

<懇談会等についておたずねします。>

(1) クラス懇談会でお伝えする園生活の様子や教育内容を通して、本園の教育方針が伝わっていますか。

- A 伝わっている
- B まあまあ伝わっている
- C あまり伝わっていない
- D 伝わっていない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください

()

(2) 個人懇談会はお子さんの成長や発達を考える上で有意義なものとなっていますか。

- A なっている
- B まあまあなっている
- C あまりなっていない
- D なっていない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください

()

<子育て支援についておたずねします。>

(1) 希望 (のぞみ) クラスについて

① 本園の希望クラスは一年を通してクラス集団として保育を積み重ねることを目的としています。実施目的をご存じですか。

- A 知っている
- B なんとなく知っている
- C あまり知らない
- D 知らない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

()

② 本園における希望クラスは、子育て支援に有効だと思いますか。

- A そう思う
- B ややそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

()

③参加すると考えた場合、子どもの観点から何時までが適切な預かり時間だとお感じですか。以下の中から1つ選んでください。

- ・ 16時まで
- ・ 17時まで
- ・ 18時まで
- ・ 18時以降

④参加すると考えた場合、保護者の観点から最長何時までを希望されますか。以下の中から1つ選んでください。

- ・ 16時まで
- ・ 17時まで
- ・ 18時まで
- ・ 18時以降

⑤希望クラスに参加経験がありますか。

- A 現在参加している 又は 参加したことがある
B 参加したことがない

* Aと答えた方にア、イの項目についておたずねします。

ア. お子さんは、希望クラスに喜んで参加していた（いる）と思いますか。

- ㉑ そう思う
- ㉒ ややそう思う
- ㉓ あまりそう思わない
- ㉔ そう思わない

㉑または㉒と答えた方は主な理由を以下の中から1つ選んでください。

- ・ 同じメンバーで遊べることを喜んでいる
- ・ 異年齢で遊ぶことを楽しみにしている
- ・ 希望クラスとしての意識が芽生える
- ・ 十分遊べる
- ・ おやつを楽しみにしている
- ・ その他 ()

㉓または㉔と答えた方は主な理由を以下の中から1つ選んでください。

- ・ いろいろな子どもと関わりたい
- ・ 異年齢との遊びを嫌がる
- ・ 17時になったことを負担に感じている
- ・ その他 ()

イ. 保護者の方は、希望クラスに参加させて良かったと思いますか。

- ㉕ 良かった
- ㉖ まあまあ良かった
- ㉗ あまり良くなかった
- ㉘ 良くなかった

㉕または㉖と答えた方は主な理由を以下の中から1つ選んでください。

- ・ メンバーが決まっていることで関係が深まる
- ・ 異年齢で遊ぶことよによって成長を感じる
- ・ 少人数で家庭的な雰囲気を感じる
- ・ その他 ()

㉗または㉘と答えた方はその理由を以下の中から選んでください。

- ・ 異年齢との遊びが楽しめない
- ・ 少人数での遊びが物足りない
- ・ その他 ()

(2) 預かり保育（なないろ）について

① 本園の預かり保育（なないろ）は保護者の都合に合わせて利用できることを目的としています。実施目的をご存じですか。

- A 知っている
- B なんとなく知っている
- C あまり知らない
- D まったく知らない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

()

② 本園における預かり保育（なないろ）は、子育て支援に有効だと思いますか。

- A そう思う
- B ややそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

()

③ 利用すると考えた場合、子どもの観点から何時までが適切な預かり時間だとお感じですか。以下の中から1つ選んでください。

- ・ 16時まで
- ・ 17時まで
- ・ 18時まで
- ・ 18時以降

④ 利用すると考えた場合、保護者の観点から最長何時までを希望されますか。以下の中から1つ選んでください。

- ・ 16時まで
- ・ 17時まで
- ・ 18時まで
- ・ 18時以降

⑤ 預かり保育（なないろ）を利用したことがありますか。

- A 利用したことがある
- B 利用したことがない

*Aと答えた方にア、イ、ウの項目についておたずねします。

ア. お子さんは、預かり保育（なないろ）に喜んで参加していた（いる）と思いますか。

- ㉑ そう思う
- ㉒ ややそう思う
- ㉓ あまりそう思わない
- ㉔ そう思わない

㉔または㉕と答えた方は主な理由を以下の中から1つ選んでください。

- ・いろいろな子どもと遊べることを楽しみにしている
- ・なないろの遊具で遊べることを喜んでいる
- ・おやつを楽しみにしている
- ・その他 ()

㉖または㉗と答えた方は主な理由を以下の中から1つ選んでください。

- ・遊ぶ友だちがいなかった
- ・はじめての環境に戸惑っていた
- ・その他 ()

イ. 保護者の方は、なないろに参加させて良かったと思いますか。

- ㉘ 良かった
- ㉙ まあまあ良かった
- ㉚ あまり良くなかった
- ㉛ 良くなかった

㉔または㉕と答えた方は主な理由を以下の中から1つ選んでください。

- ・用事を済ませることができた
- ・子どもが喜んでいて
- ・園の安全な環境で遊ばせることができた
- ・その他 ()

㉖または㉗と答えた方は主な理由を以下の中から1つ選んでください。

- ・園まで迎えに行くのが大変だった
- ・子どもがあまり喜んでいなかった
- ・その他 ()

ウ. 主にどのような理由で利用しましたか。

- ㉜ 仕事のため
- ㉝ 用事のため
- ㉞ その他 ()

(3) 2歳児親子教室について

① 2歳児親子教室に参加しましたか。

- A 参加した
- B 参加していない

* Aと答えた方にアの項目についておたずねします。

ア. 2歳児親子教室は子育て支援に有効だと思いますか。

- ㉟ そう思う
- ㊱ ややそう思う
- ㊲ あまりそう思わない
- ㊳ そう思わない

㉔また㉕と答えた方はその理由をお書きください。

()

(4) 教育相談（園長によるものを含む）について

① 本園では子育ての不安を和らげることを目的とした教育相談という制度を設けています。この教育相談の存在をご存じですか。

- A 知っている
- B なんとなく知っている
- C あまり知らない
- D 知らない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

()

② 教育相談は、子育て支援に有効だと思いますか。

- A そう思う
- B ややそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

()

③ 教育相談を受けたことがありますか。

- A よくある
- B 数回ある
- C 1, 2回ある
- D まったくない

<施設・設備についておたずねします。>

(1) 子どもたちが園生活を過ごしやすいように環境整備ができていますか。

- A そう思う
- B まあまあそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

()

(2) 幼稚園の季節の花々や樹木、実のなる木などは、子どもたちが四季を感じられるように整備されていると思いますか。

- A そう思う
- B まあまあそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

()

(3) 保育室は子どもたちが生活しやすいように環境が整えられていると思いますか。

- A そう思う
- B まあまあそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

()

(4) 幼稚園の施設・設備は安全に配慮されていると思いますか。

- A そう思う
- B まあまあそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

()

以上、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

以下の質問について該当するものに○印をつけてください。

①高槻ミュージックキャンパス内の関西大学初等部に興味がありますか。

- A 関心がある
- B 少し関心がある
- C ほとんど関心がない
- D まったく関心がない

②初等部への入学を視野に入れて、関西大学幼稚園への入園を希望しましたか。

- A 初等部入学を視野に入れて、入園を希望した
- B 初等部に興味があり、入園を希望した
- C 初等部のことは知っていたが、特に興味はなく、入園を希望した
- D 初等部のことはまったく関心がなく、入園を希望した

③在園児保護者対象の入学説明会の時期は適切であると思いますか。

- A 適切であると思う
- B ほぼ適切であると思う
- C あまり適切であると思わない
- D 適切であると思わない

C、Dと答えた方はいつ頃が良いと思いますか。()

④本園での、初等部の入学説明会（5月12日）に参加されましたか。

- A 参加した
- B 参加していない

* Aの「参加した」と答えた方にお聞きします。

説明内容についてどう思われましたか。

- A 満足している
- B まあまあ満足している
- C あまり満足していない
- D 満足していない

C、Dと答えた方はその理由をお書きください

()

⑤現在高槻ミュージックキャンパスにおいて、初等部・中等部・高等部の12年間一貫教育を行っています。高槻キャンパスに限らず、幼稚園を含めた一貫教育を望みますか。

- A 望む
- B 少し望む
- C あまり望まない
- D 望まない

A、Bと答えた方は、その理由をお書きください

[]

C、Dと答えた方は、その理由をお書きください

[]

⑥初等部に限らず私学の小学校に関心がありますか。

- A 関心がある
- B 少し関心がある
- C ほとんど関心がない
- D まったく関心がない

⑦現在、幼児教室や塾などに通っていますか。

- A 私学受験を考えているので通っている
- B 私学受験を考えていないが通っている
- C 私学受験を考えているが通っていない
- D 私学受験を考えていないので通っていない

⑧お子さんが小学校に上がるにあたり、何か心配されていることがありますか。

あればお書きください。

[]

以上、アンケートにご協力いただきありがとうございました。
よろしければお名前をお書きください。

以下の質問について該当するもの1つに○印をつけてください。

1. リズム運動 参観についておたずねします。(年中保護者の方のみ)

①リズム運動の参観に参加しましたか。

- A 参加した
- B 参加していない

* Aと答えた方にア、イの項目についておたずねします。

ア. お子さんはリズム運動を楽しんでいましたか。

- ① 楽しんでいた
- ② まあまあ楽しんでいた
- ③ あまり楽しんでいなかった
- ④ 楽しんでいなかった

③または④と答えた方はその理由をお書きください。

()

イ. 参観を通して、普段の生活で不足している運動量を補うため、リズム運動に取り組んでいることを理解していただけましたか。

- ① 理解できた
- ② まあまあ理解できた
- ③ あまり理解できなかった
- ④ 理解できなかった

③または④と答えた方はその理由をお書きください。

()

2. 保護者対象のリズム運動についておたずねします。(年中・年長保護者の方のみ)

①7月12日に行われた保護者対象のリズム運動に参加しましたか。

- A 参加した
- B 参加していない

* Aと答えた方にア、イの項目についておたずねします。

ア. 参加してよかったですか。

- ① よかった
- ② まあまあよかった
- ③ あまりよくなかった
- ④ よくなかった

③または④と答えた方はその理由をお書きください。

()

◎または㉔と答えた方はその理由をお書きください。

()

イ. 実際に体を動かすことでリズム運動をより理解していただけましたか。

- ㉑ 理解できた
- ㉒ まあまあ理解できた
- ㉓ あまり理解できなかった
- ㉔ 理解できなかった

◎または㉔と答えた方はその理由をお書きください。

()

3. 運動月間についておたずねします。

①10月は運動月間として毎日の園生活の中に、戸外での体育遊びを多く取り入れ、毎日「運動会ごっこ」を行ってきました。ご存じでしたか。

- A 知っていた
- B だいたい知っていた
- C あまり知らなかった
- D 知らなかった

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

()

②運動会の参観についておたずねします。運動会参観にご家族のどなたかが参加されましたか。

- A 参加した
- B 参加していない

*Aと答えた方にア、イ、ウの項目についておたずねします。

ア. プログラムは楽しめる内容でしたか。

- ㉑ 楽しめた
- ㉒ まあまあ楽しめた
- ㉓ あまり楽しめなかった
- ㉔ 楽しめなかった

◎または㉔と答えた方はその理由をお書きください。

()

イ. 親子のプログラムではお子さんと楽しめましたか。

- ㉑ 楽しめた
- ㉒ まあまあ楽しめた

㉓ あまり楽しめなかった

㉔ 楽しめなかった

㉓または㉔と答えた方はその理由をお書きください。

()

ウ. 運動会ではお子さんの成長を感じられましたか。

㉑ 感じられた

㉒ まあまあ感じられた

㉓ あまり感じられなかった

㉔ 感じられなかった

㉓または㉔と答えた方はその理由をお書きください。

()

4. 休日参観についておたずねします。

①休日参観にはご家族のどなたかが参加されましたか。

A 参加した

B 参加していない

* Aと答えた方にア、イ、ウの項目についておたずねします。

ア. 休日参観は楽しめる内容でしたか。

㉑ 楽しめた

㉒ まあまあ楽しめた

㉓ あまり楽しめなかった

㉔ 楽しめなかった

㉓または㉔と答えた方はその理由をお書きください。

()

イ. お子さんの園での様子を知る機会になりましたか。

㉑ 知る機会になった

㉒ まあまあ知る機会になった

㉓ あまり知る機会にならなかった

㉔ 知る機会にならなかった

㉓または㉔と答えた方はその理由をお書きください。

()

ウ. お子さんの成長を感じることができましたか。

㉑ 感じられた

㉒ まあまあ感じられた

㉓ あまり感じられなかった

㉔ 感じられなかった

◎または㉑と答えた方はその理由をお書きください。

()

5. おみせやさんごっこについておたずねします。(年長保護者の方のみ)

①参観に参加されましたか。

A 参加した

B 参加していない

*A と答えた方にア、イの項目についておたずねします。

ア. 子どもたちとの関わりを楽しめましたか。

㉑ 楽しめた

㉒ まあまあ楽しめた

㉓ あまり楽しめなかった

㉔ 楽しめなかった

◎または㉑と答えた方はその理由をお書きください。

()

イ. おみせやさんごっこに取り組むお子さんの姿に成長を感じられましたか。

㉑ 感じられた

㉒ まあまあ感じられた

㉓ あまり感じられなかった

㉔ 感じられなかった

◎または㉑と答えた方はその理由をお書きください。

()